

小牧市子ども・子育て支援事業計画

令和 3 年度実績報告書

【目次】

- ・ こども・子育て会議の意見
- ・ 第 4 章 施策の展開
- ・ 第 5 章 3 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保
 - 4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

こども・子育て会議での意見

実績報告書 項目	取り組み	委員からの意見	回答、対応
	※全体に対する意見	前年度と比較した自己評価となっているが、令和2年度から通して評価しないのか。	単年度の評価を毎年積み重ね、第二期の5年間の評価を踏まえて次期計画を策定します。
第4章 1-3-4	児童委員・主任児童委員活動の充実	一部地域の民児協の定例会において、発達障害に関する研修を実施したとあるが、どこの地区か。ほかの地区の方は参加できず、周知もされていないのか。	北里地区で実施しました。地区の役員から相談を受け、実施したものです。地区のニーズに応じて、民生・児童委員の資質向上に役立つ研修の開催を可能な限り支援しているため、個別にご相談してください。
第4章 1-3-5	通学路パトロールボランティアによる見守り活動	危険箇所等の報告は集積されているのか。情報共有できているのか。	通学路パトロールを行う中で把握した通学路の危険箇所等においては、学校に情報提供していただいています。
第4章 1-3-6	こども110番の家の設置	設置数が少ない地域はどこか。助けを求めた件数はどれくらいか。	東部地区の小学校区において設置数がやや少ない傾向にあります。制度を利用した件数の把握は行っていません。
第4章 1-4-5	こども食堂の推進	今後の方向性を教えていただきたい。実績に2件とあるが、北外山以外では、どこで開催しているか。	北外山のほか、新町で開催しています。今後の開催予定として、多気地区で計画されている方がいます。県の補助の支給等があり、制度の案内と相談対応や、周知を行っています。
第4章 2	※基本目標2に関する意見	ヤングケアラーについて、学校の家庭訪問で把握するとともに、様々な行政関係団体と連携した支援を早めに進めていただきたい。	中間見直しにおいて、基本目標2-施策2に「ヤングケアラーの相談支援」を追加し、早期発見に努め、相談・支援体制を検討していきます。
第4章 2-1-4	子育て世代包括支援センターにおける一時預かり事業	障害のある子や外国人の子の対応をどのようにしているか。	保健師や保育士が面談を行い、その子に合った保育、預かりができるようにしています。必要に応じて通訳を交えた面談を行っています。
第4章 2-1-6	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	指導方針が指導員によって異なるが、指導員に対してどのような指導を市からしていくのか、どのように質を高めていくのか。	所長、指導員、支援員それぞれの研修計画を立て、様々な研修を実施しています。児童クラブでは毎日ミーティングを開き、相談しながら進めていますが、お気付きの点がありましたら、市へご連絡をお願いします。

こども・子育て会議での意見

実績報告書 項目	取り組み	委員からの意見	回答、対応
第4章 2-3-1	幼児教育・保育の無償化	対象人数の増減で評価するのではなく、無償の対象者に確実にお知らせができていれば評価を上げてはどうか。 割合の表記を全体で統一すべき。	今後、全体的な項目について、数だけではなく、内容の充実という観点を加味しつつ、評価するよう検討します。 割合の表記は「対前年度比%」に統一しました。
第4章 2-4-7	ひとり親家庭等入学支援金の支給	返済の義務や所得による制限があるのか。	返済義務はありません。所得制限のある、小牧市遺児手当を受給していることが支給条件になっています。
第4章 3	※基本目標3に関する意見	保育施設や学校等のバリアフリーについて伺いたい。 医療ケア児の車椅子やベッドが入ることのできる施設はどれぐらいあるか。	【保育施設等(幼稚園含む)】 幼稚園を含めた保育施設等は49園であり、階段が無い施設(平屋建て等)は30施設、それ以外の19施設全てに階段手すりの設置があります。エレベーター設置園は2園で、そのうちベッドが乗る広さが確保されているのは1園(みなみ保育園中部地区)です。 【小・中学校】 車椅子が乗ることができるエレベーターが設置してある学校は、小学校で2校(小牧小、小牧南小)、中学校で1校(味岡中)です。
第4章 4	※基本目標4に関する意見	新たな支援講座について、日曜日以外の開催や、児童館などにおける開催も検討して欲しい。	意見を踏まえて事業の拡大を検討していきます。
第5章 4-(4)	地域子育て支援拠点事業	令和2年と令和3年度の実績を比較すると236人増加しているが、提供体制の記述では「昨年に比べると4,000人程度増加」とある。利用者人数を教えてください。	令和2年度実績の「56,355」は誤りであり、「47,506」に修正しました。 また、「昨年に比べると4,000人程度増加」の記述を「昨年に比べると9,000人程度増加」へ修正しました。

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
1	1	1	「夢の教室」開催事業	「夢先生」となったスポーツ選手などが学校の教壇に立ち、夢や目標を持つことの素晴らしさ、夢や目標に向かって努力することの大切さ、フェアプレーや助け合いの精神を育みます。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインにより実施した。	2	オンライン実施のため	新型コロナウイルス感染症の状況を見て、開催方法を検討する。	オンラインによる開催か、各学校での実施か、新型コロナウイルス感染症の状況をみて開催方法を検討し実施する。		学校教育課
1	1	2	市内産業見学会開催事業	子どもたちに市内の特色ある企業や産業を知ってもらうことで、小牧市の特色を知り、地元への愛着を形成するとともに、将来の夢を育むきっかけづくりを行います。	市内企業の協力のもと、1社の見学、また、消防署で職業体験を行った。見学会の参加者は7名(定員9名)、職業体験の参加者は6名(定員10名)。(前年度実績:中止)	2	新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を減らし、時間を短くして募集をしたことなどにより、応募者が少なかつたため。	新型コロナウイルス感染症のため、受け入れてもらえる企業や団体が少ない。状況をみながら、今後の見学について検討が必要。	市内産業見学会を1日で2社及び職業体験会を2か所で開催する予定としている。		こども政策課
1	1	3	夢にチャレンジ助成金支給事業	子どもが自分の夢をカタチにする仕組みをつくり、子どもの夢の実現を応援するため、高校生・大学生向けの助成金を支給します。	2件(大学生2名)の交付決定をし、1件に対して助成した。助成額は300,000円。もう1件は令和4年度に活動を行い、助成する。また、将来助成金を活用してもらう契機とするため、中学生を対象に夢にチャレンジ発表会を開催し、6名が夢を発表した。	3	令和3年度からは対象者に市内在住の25歳以下の社会人や市内高校等の在学の方を加え、活動期間を拡大し、募集を行った結果、2件の応募があったため。	多くの方に助成金を活用してもらえるよう、より一層、周知等が必要である。	継続的に応募があるよう、活動内容や制度について広報、ホームページでの周知に加え、SNSの活用を検討する。夢にチャレンジ発表会を開催し、中学生が自らの夢を発表する場を提供する。		こども政策課
1	1	4	児童館の英語事業	児童館で子どもたちが英語に親しむプログラムに参加することにより、創造性、豊かな心、意思決定力など将来の可能性を広げる力を自然に身につけられるきっかけづくりを行います。	児童館で子どもたちが英語に親しむプログラムに参加することにより、創造性、豊かな心、意思決定力など将来の可能性を広げる力を自然に身につけられるきっかけづくりを行った。	3	未就学児・幼児・小学生親子を対象にこまきこども未来館及び全児童館(計8館)で開催した。万全にコロナ対策を行いながら、利用者のニーズに沿った運営を行い、利用者にも好評を得た。	特になし	例年通り進めていく。利用者からの新たな要望があれば対応していく。		多世代交流プラザ
1	1	5	学習支援事業 駒来塾	経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるように学習支援活動を行います。	年間42回、市内4教室で実施し、合わせて61名の参加があった。令和3年度よりできるだけ新規生徒が学ぶ時間が取れるよう、入塾の時期を1ヶ月前倒しした。また、令和3年度は定員に余裕があったため、より多くの方に参加してもらうよう4月募集に加え、夏休み終了後に追加募集を行い、13名の追加入塾があった。	3	追加募集を実施したことにより、令和2年度と比較し、新規入塾生の加入が多くみられたため。	アンケート結果からは満足度は高く、徐々に勉強する習慣が身についてきている様子が窺える。ひとり親家庭や不登校傾向の生徒など、さまざまな事情を抱えている生徒がおり、継続して参加してもらえるような個々に応じた対応や働きかけが必要。	新規生徒は、4月募集6月入塾できるよう調整を行い、定員に余裕があれば追加募集を行う。引き続き、市内4教室で実施する。		こども政策課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
1	2	1	地域子育て支援拠点事業	親子の孤立化を防ぎ、地域との関わり合いの中で不安感を緩和しながら子育てができるよう支援します。子育て支援の拠点として、妊娠期から子育て期までの包括的なサポートを行う子育て世代包括支援センターや、児童館の子育て支援室において、親子が気軽に集い、交流できる場・機会を提供します。	令和3年度利用者数:56,591人 (前年度実績:47,506人、前年度比119.1%) (内訳) 子育て世代包括支援センター12,886人 小牧児童館:5,733人 大城児童館:4,437人 味噌岡児童館:3,541人 西部児童館:6,703人 北里児童館:6,694人 小牧南児童館:14,210人 篠岡児童館:2,387人	3	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、子育て支援室(子育て世代包括支援センター内)の利用制限を実施していたため、コロナ前に比べて利用者は減少しているが、昨年に比べると4,000人程度増加したため。 児童館においても約5,000人利用者が増えているため。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、子育て支援室(子育て世代包括支援センター内)の利用制限を実施したことにより、コロナ前に比べて利用者が減少していると思われる。 今後も新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じ、感染防止対策を講じながら親子が気軽に集い交流できる場と提供していくことが必須である。	子育て支援室では子育て期だけでなく、妊娠期からの支援として「あつまれ！！たまごファミリー」を新しい講座として開催する。「はじめまして」ではなく、「産まれました」と支援室に親子で来所してもらえるよう、つながりを図っていく。		子育て世代包括支援センター 多世代交流ブラザ
1	2	2	児童館事業	児童館で行う各種イベント、講座の充実を図るとともに、それらの行事を活用するなどして子どもを中心とした地域住民交流の拠点とします。また、子どもたちには居心地のよい場を提供し、地域の大人が子どもを見守る仕組みをつくりま	万全のコロナ対策を実施しながら、工夫して行事等を開催することができた。また、緊急事態宣言に伴う臨時休館中も、相談業務のみは継続して実施するなど、子育て中の父母支援や児童の日常拠点としての役割を務めた。	3	緊急事態宣言等に伴う臨時休館もあったが、概ね通常どおりの頻度で開催した。制限のある中、できる範囲の工夫をして、遊びを提供した。	コロナ禍の中、できることを検討しつつ開催していく。	左記の事項を検討しつつ、コロナ対策を万全にイベントを行っていく。		多世代交流ブラザ
1	2	3	こまきこども未来館の整備	こまきこども未来館の整備を進め、中央児童館として機能の拡大・充実を図ります。	3月に開館1周年イベントを実施した。コロナ禍において多くの児童が記念行事に参加できるよう、1ヶ月程度の期間を設けて開催した。厳しい制限の中でも、コロナ対策を徹底し、児童の日常拠点として工夫をしながら活動した。 ◎令和3年度来館者数 169,587人	3	緊急事態宣言等に伴う臨時休館や一部閉鎖等を余儀なくされたが、安全を確保しながら、より多くの児童が活動しやすいレイアウトへの変更や、提供する遊びの数を増やすなど、制限下において十分な遊び・体験を提供できた。	コロナ禍の中、できることを検討しつつ開催していく。	左記の事項を検討しつつ、コロナ対策を万全にイベントを行っていく。		多世代交流ブラザ
1	2	4	父母クラブの育成	児童館等を拠点として、子どもが地域で健全に育つためのボランティア活動を実施している父母クラブを育成・支援します。	児童館等を拠点として、子どもが地域で健全に育つためのボランティア活動を実施している父母クラブの育成・支援を行った。	3	各児童館で活動する父母クラブに対し、子育てに関する知識の習得や仲間作りなどの手助けを行った。	特になし。補助金の交付は令和3年度まで。	補助金は廃止するが、指定管理委託料から例年通り支援を行う。		多世代交流ブラザ
1	2	5	地域活動の支援	地域協議会、小牧市子ども会連絡協議会及び地域の子どもの会の活動を支援します。	地域協議会が実施する子どもを対象とした交流や見守り等の活動に対し、交付金の交付や地域パートナーの派遣などにより支援を行った。 (R3実績:10事業)	3	令和2年度に続き、コロナの影響を受ける事業が多い中ではあったが、既存の活動を形態を変えて実施するなど、地域活動の継続に努めた。	令和3年末に完成した地域協議会活動に関する手引書の活用を促し、こどもを含む地域活動全体の底上げを図りつつも、引き続き、地域の現状に即した支援を行っていく必要がある。	地域協議会代表者会議などにおいて、各協議会の取組について、情報共有を図るとともに良い取り組みについて横展開を図る機会を設け、活動の活性化に向けた支援に努める。		多世代交流ブラザ 支え合い 協働推進課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
1	2	6	幼稚園・保育園・認定こども園の地域活動事業	老人福祉施設訪問や行事を通じた異世代交流を行うなど、地域住民との交流を図り、開かれた幼稚園・保育園・認定こども園を目指します。	各園において世代間交流事業、地域交流事業等を実施した。 主な活動は、七夕会、運動会、敬老会、クリスマス会など (保育事業:保育園) R3年度開催回数:58回 前年度開催回数:55回 前年度比105.4% (教育事業:幼稚園、認定こども園) R3年度開催回数:34回 前年度開催回数:24回 前年度比141.6%	3	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止や縮小を余儀なくされたため、前年度との単純な比較は難しいが、令和2年度に比して増加した。	コロナ禍での適切なあり方について検討し、情報共有を図っていく必要がある。	保育所保育指針や幼稚園教育要領等にも地域活動の重要性が示されていることから、引き続き、各園の定例的な取組として継続していく。		幼児教育・保育課
1	2	7	園庭開放	幼稚園・保育園・認定こども園の園庭を開放し、入園前の子どもたちが同じくらの年齢の友達と遊んだり、保護者同士で情報交換したり、子育ての悩みを相談できる場を提供することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。	地域の未就園児親子に遊び及び交流の場として園を開放し、同時に育児相談等の支援を実施した。 (保育事業:保育園) R3年度延べ参加者数:320人 前年度延べ参加者数:935人 前年度比34.2% (教育事業:幼稚園、認定こども園) R3年度延べ参加者数:1,931人 前年度延べ参加者数:1,643人 前年度比117.5%	2	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止や縮小を余儀なくされたため、前年度との単純な比較は難しい。	コロナ禍での適切なあり方について検討し、情報共有を図っていく必要がある。	保育所保育指針や幼稚園教育要領等にも子育て支援の重要性が示されていることから、引き続き、各園の定例的な取組として継続していく。		幼児教育・保育課
1	2	8	地域3あい事業	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、地区の会館を利用して地域の大人と子どもが交流する事業を実施します。	市内43区が事業を行い、全活動数218件の内、135件の活動に2,993人の子どもが参加した。	2	令和3年度は172件の活動に2,228人の子どもが参加したが、令和3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により例年未満となったため。	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業数や参加者が大幅に減少したため。	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、地区の会館を利用して地域の大人と子どもが交流する事業を実施する。		文化・スポーツ課
1	2	9	学校地域コーディネーター派遣事業	各学校への学校地域コーディネーターの派遣により、学校支援ボランティアの活動支援、児童・生徒の地域活動への参加を促進することで、家庭・学校・地域の連携を促進します。	16小学校に27名、9中学校に15名のコーディネーターを配置し、学校支援ボランティアの活動支援、児童・生徒の地域活動への参加を促進した。	2	研修会等は実施したものの、新型コロナウイルス感染症の影響があり、例年に比べ縮小した活動となったため。	例年と同程度の人数を派遣し、地域活動を支援した。	今後も学校と地域を繋ぐ活動を継続して実施していく。		こども政策課
1	2	10	赤ちゃんの駅事業	子育て家庭の保護者が安心して外出できるよう、授乳やおむつ替えのできる設備を提供できる施設の増加を目指します。	公共施設27施設、民間施設25施設で提供を行っている。	3	評価指標としている対象施設数に増減がなかったため。	既存施設においては適宜利用されているものの、新規施設の登録申請はなかった。	新規登録施設が増えるようホームページ等も活用し、引き続き広報に努めていく。		こども政策課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
1	3	1	少年センター事業	青少年と保護者の悩み事相談、少年センター補導員による街頭パトロールなどを実施し、青少年の健全育成を推進します。	電話、Eメール、カウンセラーとの面談等、青少年に関する相談活動を行った。(R3年度実績:208件、前年度比:137.7%、前年度実績:151件)また、少年センター補導員、PTA、学校等が協力してパトロールを行い、青少年の非行防止を図った。(R3年度街頭補導巡回数:274回、前年度比:92.6%、前年度実績:296回)(R3補導従事者数:756人)	2	コロナ禍においてできる範囲で活動を行った。以前に比べ実績は少ないが、昨年度よりは多く活動できた。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年度に続き補導巡回数は少ないが、一定の抑止効果は見込まれるため、引き続き非行防止に努める。	今後も引き続き少年センターへの電話相談・カウンセラーによる相談を実施する。 また、R3年度は、コロナ以前の街頭巡回数(R1:467件、R3:274件)と比較し、補導件数(R1:123人、R3:48人)が大きく減少しており、補導活動により、一定の抑止効果は見込まれるため、引き続き非行防止に努める。		こども政策課
1	3	2	各中学校区青少年健全育成会活動の活性化	青少年の非行・被害防止や、地域ぐるみの青少年の健全育成を図るための活動を支援します。	新型コロナウイルス感染症の予防対策をしながら、小・中学校との地域のふれあい活動や地域活動への小・中学生の参加を推奨し、6月と11月に「笑顔でさがしあひさつ運動」を推進し、安全安心な街づくりに寄与した。	3	コロナ禍においてできる範囲で活動を行った。令和2年度中止となった「笑顔でさがしあひさつ運動」を2回実施することができた。	「少年の生活意識と行動」の実態調査によると、声をかけてくれる人がいると感じている子どもの割合(R2:85%、R3:90%)は、コロナ禍においても高い割合を示している。今後も各学校・地域での取り組みを推進していきたい。	「笑顔でさがしあひさつ運動」等の実施に向けて計画していく。引き続き各学校・地域での取り組みを推進していく。		こども政策課
1	3	3	幼児期家庭教育学級・家庭教育推進事業	幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校において、家庭教育の大切さを学習したり、親子がふれあい、絆を深める機会を提供することにより、地域ぐるみの子育てを支援します。	市内小中学校22校、幼稚園・保育園・認定こども園の20学級が事業を実施した。家庭教育講演会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により規模を縮小して実施した。	2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施を見合わせた活動があったため。	新型コロナウイルス感染症の影響により限定的な取り組みとなったが、可能な限り各保育園・幼稚園・認定こども園及び各小中学校PTAと連携を図り、活動に取り組んだ。	新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、事業を実施する。		学校教育課
1	3	4	児童委員・主任児童委員活動の充実	子どもや子育てに関する研修に参加する機会を設けたり、地域に密着した子どもや子育て家庭の見守りなど、関係機関と連携しながら、児童委員・主任児童委員の活動の充実を図ります。	令和3年度:昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響で研修会は実施できなかった。 一部地域の民児協の定例会において、発達障害に関する研修を実施した。また、低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金等に関する情報提供を行い、委員の活動充実に向けた活動を行った。	3	昨年に引き続き、例年の研修会は実施できなかったため。 コロナ禍の中、定例会を感染症対策を行った上で開催し、研修の機会を設けることができた。	地域での活動が制限される中、地域の見守りを継続して、お願いしている。今後も児童委員からも心配な家庭についての情報提供をいただき、相互に連携を図っていく必要がある。 引き続きコロナ禍における子育て支援施策等の情報提供を適切に行い、活動の充実に向けた働きかけを行っていく必要がある。	新型コロナウイルス感染拡大の影響をみながら、研修会の開催を検討する。 引き続き市の子育て支援に関するサービスの情報提供を行い、地区ごとに開催する研修をサポートする。	有	子育て世代包括支援センター福祉総務課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
1	3	5	通学路パトロールボランティアによる見守り活動	学校の登下校時刻を中心に、通学路の危険箇所等をパトロールし、子どもたちの安全を守ります。	市内小学校16校において、総勢700名[前年度比:減124名]のパトロールボランティアが見守り活動を行った。	3	1校において登録者数が大幅減となったが、その他の学校においては大きな増減はなく活動も例年通りに行ったため。	パトロールボランティア登録者数の地域間格差が大きい。	学校を通してパトロールボランティア活動を地域に啓蒙し、年間を通じてボランティア募集を行う。児童の登下校時刻を中心に、通学路のパトロールと児童の見守り活動を行う。	有	学校教育課
1	3	6	こども110番の家の設置	子どもが身の危険を感じたときに助けを求めて駆け込める「こども110番の家」の設置を推進します。	警察委嘱167軒、教育委員会委嘱226軒、合計393軒[前年度比:増減なし]のこども110番の家が設置されている。	3	現在の委嘱は平成31年度から令和3年度末までとなっているため。	一部地域の設置数が少ない。	令和7年度からの新規委嘱に向け、学校を通じて110番の家設置の重要性を地域に発信する。	有	学校教育課
1	3	7	緊急メールの配信	保護者あてに不審者情報や自然災害情報などの緊急メール配信を行います。	市内全小中学校25校においてメール配信を実施している。	3	各学校より必要に応じて配信。	特になし	例年どおり実施する		学校教育課
1	3	8	いじめ・不登校対策事業	小牧市いじめ・不登校対策連絡会を中心として、各関係機関と連携し、すべての児童生徒が充実した学校生活が送れるように支援します。	いじめの認知件数 小学校:576件 中学校:299件 不登校児童生徒数 小学校:187人 中学校:367人 ＜前年度実績＞ いじめの認知件数 小学校:286件 中学校:200件 不登校児童生徒数 小学校:159人 中学校:287人	2	いじめ認知件数は増加したが、不登校児童生徒数は増加しているため。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、研修会の中止や連絡会が文書開催となってしまったため。	いじめ認知に関する理解がまだ浸透しておらず、学校間格差が激しい。 不登校児童生徒数の増加傾向が続いている。	新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、いじめ・不登校に関わる研修会や連絡会を開催し、市内全体の共通理解のもとにいじめ・不登校対策に取り組む。		学校教育課
1	3	9	「こころ」と「いのち」を守るための支援	小牧市自殺対策計画に基づき、保健、医療、福祉、教育等関連施策と連携を図り、生きることの包括的な支援を行います。	うつ・自殺対策相談窓口ネットワーク会議を開催し、相談窓口担当者のネットワークづくりを行った。	2	会議は2回開催の予定だったが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1回は書面開催、もう1回は中止となった。	自殺の原因・動機は様々であり、自殺の多くは様々な原因や背景が重なることで起こるため、より一層の連携強化が必要と考える。	自殺対策は分野の施策に留まらず様々な分野の施策や組織が密接に連携し「生きるための包括的な支援」として実施される必要があるため、保健センターだけでなく、様々な部署が自殺対策の一部を担っていることに気づきが得られると良い。		保健センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
1	4	1	児童館事業	児童館で行う各種イベント、講座の充実を図るとともに、それらの行事を活用するなどして子どもを中心とした地域住民交流の拠点とします。また、子どもたちには居心地のよい場を提供し、地域の大人が子どもを見守る仕組みをつくりま	万全のコロナ対策を実施しながら、工夫して行事等を開催することができた。また、緊急事態宣言に伴う臨時休館中も、相談業務のみは継続して実施するなど、子育て中の父母支援や児童の日常拠点としての役割を務めた。	3	緊急事態宣言等に伴う臨時休館もあったが、概ね通常どおりの頻度で開催した。制限のある中、できる範囲の工夫をして、遊びを提供した。	コロナ禍の中、できることを検討しつつ開催していく。	左記の事項を検討しつつ、コロナ対策を万全にイベントを行っていく。		多世代交流プラザ
1	4	2	放課後子ども教室	すべての小学生を対象として、安全・安心な放課後の活動拠点を小学校の特別教室などに設け、地域の人の協力を得て、学びやスポーツ、文化活動などの機会を提供します。	市内15小学校で年間217回[前年度比:146.6%]実施し、登録児童数は387人であった。読み聞かせ、工作、集団遊び、学習など様々な活動が行われた。(前年度実績:12小学校、148回、279人)	2	コロナ前に比べると開催回数及び参加者数は少ないが、事業の実施など例年に近い形で開催できた。	各校様々な活動を実施、子どもたちの安全・安心な活動拠点として、新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じ実施していきたい。	参加児童に安心して受講していただけるよう感染対策を徹底した上で実施していく。		こども政策課
1	4	3	小牧市版放課後子ども総合プラン	小学生の安全・安心な放課後の居場所を確保するため、すべての小学生が、小牧市版放課後子ども総合プランの活動プログラムに参加できる仕組みづくりを推進します。導入検討委員会を設置し、運営面での具体的な検討を重ね、モデル事業を実施しながら小牧市版放課後子ども総合プランの導入に向けた制度設計を進めます。	モデル校である小牧小で5回、光ヶ丘小で3回合同の体験活動を実施し、延べ305人が参加した。(小牧小(子ども教室92人、児童クラブ91人)、光ヶ丘小(子ども教室65人、児童クラブ57人)) また令和3年度のモデル事業実施を踏まえ、実施手順をマニュアルとしてとりまとめた。	3	新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた活動が中止となったこともあったが、2小学校でモデル事業を実施し、その評価・検証を踏まえて次年度につなげることができた。 また、令和6年度に全校への導入に向けたスケジュールを立てることができた。	モデル事業を行うことで見えてきた課題などを適宜マニュアル化していき、事業を行いやすくする。	R2年度モデル校の2校に加え、三ツ瀨小、味岡小、篠岡小、小牧原小で実施し、その評価・検証を踏まえて令和5年度以降の事業計画を検討する。		こども政策課
1	4	4	子どもの体験活動の推進	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるため、ボランティアや地域の協力を得て、自然体験活動、ジュニアセミナーを実施します。	こども自然体験活動 身近な里山の自然観察(第1回、2回いずれも13家族)、ハイキング(5月:6人、11月:3人)、兒の森クイズラリー(20名(18家族))Jrセミナー 兒の森里山体験(30人) 学校外活動(ジュニアセミナー) 実績:合計25講座 329人	3	新型コロナウイルスの影響を受け、講座の中止・延期等もあったが、前年度よりも開催時期を前倒すなど工夫をして講座を実施することができたため。	こども自然体験活動について、R3年度は新規事業として兒の森クイズラリー実施した。ジュニアセミナーについては、R2年度は募集人数を縮小、10月以降の開催とした。コロナ禍で規模を縮小しての開催となったが、受講生からの人気が高く、引き続き実施していきたい。	R4年度は前年度よりも募集人数を増やしての開催を予定している。受講生に安心して講座を受講していただけるよう感染対策を徹底した上で実施していく。 こども自然体験活動事業の内容が体験から観察へ変化しているなか、実施する委員会を見直し、今後の学校外活動を検討する。		こども政策課
1	4	5	こども食堂の推進	こども食堂の開設や運営の相談に応じて、関係部署との連携を図り、助言・支援へつなげます。	こども食堂に関する相談に対して、県補助金の情報提供等を行った。開設に関する相談:2件 その他相談等:2件	3	相談内容に応じ、関係部署と連携し、助言・支援をすることができたため。	R3年度中は市内でこども食堂2か所が新規開設となった。	引き続き、関係部署との連携を深め、支援していく。	有	こども政策課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	1	1	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	子育てについての援助を受けたい人、支援ができる人が会員となり、相互に子育てについての援助活動を行います。	令和3年度利用件数:561件 ＜参考＞ 令和2年度利用件数:246件	3	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度はキャンセルなども増え減少傾向にあったが、令和3年度は規制緩和などもあり、利用が増加した。	有償ボランティアのため、利用者とのマッチングの必要性もあり、多くの子育て世帯に支援が届くよう内容等、改善していく必要がある。	援助会員を増やすため、引き続き啓発活動に取り組む。また、ひとり親、多胎児育児世帯に向けた利用減免を検討する。		子育て世代包括支援センター
2	1	2	一般型一時預かり事業(一時保育)	保護者の就労や病気等の理由で、一時的または断続的に家庭での保育が困難な未就園児を対象に、保育園で預かります。	(保育事業:私立保育園) 各保育園において、一時的に保育が必要となった子どもの保育を実施した。 R3年度延べ利用者数:3,442人 前年度延べ利用者数:3,369人 前年度比102.1%	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度と同程度の利用人数となった。	需要に対応するための人材確保等が課題	可能な限り需要に対応できるように継続していく。		幼児教育・保育課
2	1	3	幼稚園型一時預かり事業(預かり保育)	幼稚園、認定こども園(1号認定)に通う在園児のうち希望者を対象に、教育時間終了後や長期休業中に幼稚園、認定こども園で預かります。	(教育事業:私立幼稚園、認定こども園) ＜幼稚園型一時預かり事業＞ 第一幼稚園において預かり保育を実施した。 R3年度延べ利用者数:2,016人 前年度延べ利用者数:1,360人 前年度比148.2% ＜私学助成による一時預かり事業＞ 私学助成を受けて預かり保育を実施した。 (私立幼稚園8園、認定こども園2園の利用実績合計) R3年度延べ利用者数:48,790人 前年度延べ利用者数:51,204人 前年度比95.2%	3	第一幼稚園の預かり保育について、令和2年度から開始した預かり保育事業が保護者へ定着化したことや、令和3年度より定員を増やしたことにより、利用者が増加した。	需要の増大に応えて、受け入れ体制を拡大しているが、人材確保が課題	可能な限り需要に対応できるように継続していく。		幼児教育・保育課
2	1	4	子育て世代包括支援センターにおける一時預かり事業	保護者の外出や育児に伴う負担などの理由で、家庭で育児をすることが困難となる場合に、生後6か月から就学前の子どもを対象に、子育て世代包括支援センター内の一時預かり室にて、一時的に子どもを預かります。	令和3年度利用者数:794人 ＜参考＞ 令和2年度利用者数:373人	4	リピーターの増加や、コロナワクチン接種副反応での預かり対応を開始したこともあり、利用者が増加したため。	緊急事態宣言明けからリフレッシュでの利用が伸びた。また、令和3年9月27日からコロナワクチン接種副反応での預かり対応を実施し、41人の利用があった。	利用者が中央地区に偏り、桃花台地区の方の利用が少ない。それを補うため大城児童館にて一時預かりを行うことを検討する。	有	子育て世代包括支援センター
2	1	5	子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者が病気などの理由で、家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合に、宿泊を伴った一時預かりを行います。	令和3年度利用者数:3人 ＜参考＞ 令和2年度利用者数:1人	4	施設が空いておらず、希望者に確実に利用してもらうことが難しい状況であったが、3施設と新たに契約したこと、選択肢が増え利用に繋げることができ、利用者が増加した。	3施設(児童養護施設2、乳児院1)と新たに契約を締結し、5施設(児童養護施設3、乳児院2)となり、希望者を利用に繋げやすくなった。	制度の周知を図りながら、希望者を利用に繋げられるよう、引き続き利用調整に努める。		子育て世代包括支援センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
2	1	6	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	小学生児童の保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、授業の終了後に子どもに適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。また、施設の老朽化、狭隘化に対する整備や改築、支援員の処遇改善による人員不足の改善等に努めます。	【利用児童数】 登録児童数、利用児童数ともに昨年度より増加している。 利用者数(延べ): (R2年度実績:195,192人、R3年度実績:226,270人[前年度比:115.9%]) 【処遇改善等】 R3年度も所長・指導員・支援員と職位を階層化し、賃金の処遇改善を行った。 【施設整備等】 狭隘化の続いていた児童クラブ1ヶ所の改築工事を行った。	3	新型コロナウイルス感染症の拡大緩和により延べ利用者は増加(H31年度に近い数値まで増加)したものの、引き続き待機児童を出すことなく事業を行うことができたため。また、開所時間の延長、処遇改善等を実施したため。	慢性的な支援員不足、複数学年児童が同時在籍する中での質の確保、児童クラブ以外の受入施設不足等が課題。また新型コロナウイルス対策をとりながら、円滑なクラブ運営を行うとともに、複雑化する事務の簡素化等が必要。	安定した体制による運営をするため、処遇改善を図り、児童クラブの質の向上を図る。また、受益者負担の考え方に基づく保護者負担金について課題の分析・検討を行う。	有	こども政策課
2	1	7	病児・病後児保育事業	子どもが病気で、かつ保護者が家庭で保育を行うことが困難な場合に、専用施設で一時的に子どもを預かります。また、保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応を行います。	《病児対応型》 市内2つの診療所に併設された施設において、病氣中、または病氣の回復期にある児童の保育を実施した。 R3年度延べ利用者数:524人 前年度延べ利用者数:176人 前年度比297.7% 《体調不良児対応型》 私立保育園4園において、保育中に体調不良となった児童であって、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童の保育を実施した。 R3年度延べ利用者数:702人 前年度延べ利用者数:304人 前年度比230.9%	3	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少していたが、施設の受け入れ人数の緩和等により令和2年度に比して増加した。	需要に対応するための人材確保に加え、病児保育を実施できる新たな医療機関の確保等が大きな課題	可能な限り需要に対応できるように継続していく。		幼児教育・保育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
2	2	1	利用者支援事業 (基本型)(母子保健型) 及び子育て支援ネットワ ークづくり	専任の利用者支援コーディ ネーターを配置し、多様な子育て 支援サービスの中から利用 者が適切に選択できるよう相 談に応じるとともに、関係機関 との連絡調整を実施し、妊娠・ 出産・育児期にわたり切れ目 なく支援を行います。また、利 用者支援コーディネーター等 による定期的な施設訪問や、 利用者支援会議を開催し、関 係機関との連携を図ります。	令和3年度相談件数 基本型:353件、母子保健型:1,029件 利用者支援会議:年11回開催 ＜参考＞ 令和2年度相談件数 基本型:254件、母子保健型:1,051件 利用者支援事業連携会議:年12回 開催	3	例年通りの利用実績であった ため。	基本型では、保健センター、保育 園等との連携を強化したことで、 相談件数が増加した。 流産死産した方も産婦であり、ま た思いがけない妊娠等で悩んで いる方への相談体制を整えてい く必要がある。 また今後、困難事例に対応する 専門職を配置し、相談体制の充 実に図っていく。	困難事例に対応する専門職も配 置し、妊娠・出産・子育て期にわ たつた切れ目のない支援ができ るよう相談体制の充実を図ってい く。 また、きめ細やか支援へと繋がる よう利用者支援連携会議を開催 し、関係機関と連携を図っていく。		子育て世代 包括支援セ ンター
2	2	2	こども家庭総合拠点事業 の実施	利用者支援事業をはじめ関係 機関と連携し、子どもとその家 庭及び妊産婦等を対象に、福 祉に関する必要な支援に係る 業務(相談への対応、情報提 供、要支援・要保護児童への 支援など)を総合的に実施す る体制を子育て世代包括支援 センター内に整備します。	令和2年4月より、子育て世代包括支 援センター内にこども家庭総合支援 拠点を設置した。	3	こども家庭総合支援拠点を 設置し、関係機関と連携し、 子どもとその家庭及び妊産 婦等を対象に、福祉に関する 必要な支援に係る業務(相談 への対応、情報提供、要支 援・要保護児童への支援な ど)を総合的に実施した。	虐待専門相談員1名、家庭児童 相談員2名、正規職員(社会福祉 士)1名を配置し、相談体制の充 実を図っている。	令和4年度より正規職員(社会福 祉士)を1名増員し、妊娠期から子 育て期にわたり、子育てのワン ストップ窓口となるよう、更なる相談 体制の充実を図っていく。 関係機関と連携し、要支援児童 や療育、障がい児への相談支援 体制を検討していく。		子育て世代 包括支援セ ンター
2	2	3	情報の発信	出産・子育てに関する様々な 状況において、利用することが できる制度の周知を図ります。 広報、ホームページ、SNS、 子育てアプリ等各種ツールを 活用しつつ、各種事業の開催 時の他、様々な機会をとらえ、 情報の発信を行います。	広報こまきで各事業を掲載する際に QRコードを載せ、市ホームページ内 の当該事業掲載ページへのアクセス が簡易になるようにした。 SNSでの情報発信について、市公 式LINEに掲載する際に、「こども／ 子育て」のセグメント設定をすること により、ニーズに応じた情報発信を 行った。	3	必要な情報が入手しやすくな るような情報発信を実施し た。	新型コロナウイルス感染症に関 する対応や支援策などについて は、特に迅速な情報発信が求め られている。	引き続き市ホームページやSNS 等を活用し、可能な限り迅速かつ 分かりやすく制度の周知を行う。		こども政策 課幼児教 育・保育課 子育て世代 包括支援セ ンター 多世代交流 プラザ
2	2	4	スクールソーシャルワー カー派遣事業	貧困やネグレクトといった家庭 環境に要因がある児童生徒の 問題行動事業について、社会 福祉士などの資格を有するス クールソーシャルワーカーを派 遣し、児童生徒が置かれた環 境へ働きかけることで、一人ひ とりの子どもの学びと育ちを支 援していく体制をつくります。	スクールソーシャルワーカー2名配置 訪問回数 691回 (前年度比:128.2%、前年度実績: 539回)	3	各学校においてスクールソ シアルワーカーの認知が進 み、相談件数が増加した。	相談件数が多いため、1つの ケースに関わることのできる時間 が限られてしまう。また、1つの ケースが長期化することも多く、 他の相談との時間調整が難し い。	他機関との情報共有を積極的に 行い、様々な機関と連携して児童 生徒とその家庭の支援にあたっ ていく。		学校教育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	3	1	幼児教育・保育の無償化	国の実施する幼児教育・保育の無償化に加え、市独自の制度として第3子以降の子どもの副食費を免除します。新制度未移行の幼稚園を利用している同一生計世帯の子どものうち、第3子以降の子どもの保育料の無償化上限額25,700円(月額)を超えた額を補助します。	●副食費免除:市基準 (保育事業:保育園、認定こども園2号) R3年度延べ対象者数:990人 前年度延べ対象者数:1,044人 前年度比94.8% (教育事業:幼稚園、認定こども園1号) R3年度延べ対象者数:218人 前年度延べ対象者数:289人 前年度比75.4% 《未移行幼稚園》 R3年度月延べ対象者数:1,675人 前年度月延べ対象者数:1,474人 前年度比113.6% ●第三子補助:未移行幼稚園 R3年度対象者数:73人 前年度対象者数:58人 前年度比125.8%	3	市独自基準の対象者の把握を行い、適切に補助することができた。	適切な補助に努める。	今後も継続して取り組んでいく。	有	幼児教育・保育課
2	3	2	幼児教育・保育の無償化に伴う給付の円滑な実施	保護者の利便性等を考慮しながら、対象施設における制度の周知と、公正かつ適正な支給の確保に努めます。また、立入調査への同行等、県との連携や情報共有を図りながら施設等の確認及び指導監督を適切に行います。	(未移行幼稚園) 事務説明会(集団指導)を実施し、無償化に係る事務説明用の資料を作成し、各園に対面にて説明を行い、周知を図った。 (認可外保育施設) 対象施設に無償化に係る事務説明用の資料を送付するとともに、利用する保護者あてにも必要な資料を送付し、周知を図った。 (保育園、認定こども園) 県および市による監査は、実地監査により2園、書面監査により(新型コロナウイルス感染症の影響のため)6園実施した。 (小規模保育事業所) 市による監査は、書面監査により(新型コロナウイルス感染症の影響のため)17園実施した。	3	無償化に伴う事務の説明および施設への監査を適切に実施できた。	対象施設および利用者に対し、幼児教育・保育の無償化制度を正しく理解してもらえるよう周知の方法などについて工夫していく必要がある。また、監査については、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、今後も適切に実施していく必要がある。	今後も継続して取り組んでいく。		幼児教育・保育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	3	3	実費徴収に係る補足給付事業	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に必要な費用や行事への参加に要する費用、給食の副食費(新制度未移行の幼稚園対象)等を助成します。	《生活保護世帯の日用品等購入費助成》 R3年度対象者数:23人 前年度対象者数:23人 前年度比100.0% 《未移行幼稚園の副食費助成》 R3年度対象者数:2,552人 前年度対象者数:2,052人 前年度比124.3%	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯収入の減少を受け、副食費助成の対象者が増加した。	適切な補助に努める。	今後も継続して取り組んでいく。		幼児教育・保育課
2	3	4	子ども医療費の助成	高校生等までの児童を対象に、健康保険の保険診療の自己負担分を助成します(ただし、高校生等の児童は入院分のみを対象とします)。	受給者数:19,255人(R3年度末時点) (前年度比:98.2%、前年度実績:19,607人) 高校生入院(R2年度より実施) 申請件数:69件 (前年度比:106.1%、前年度実績:65件)						保険医療課
2	3	5	児童手当の支給	中学校卒業までの児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給します。	6・10・2月の年3回の児童手当支給を遅延なく実施した。 対象となる児童の数:18,326人 (前年度比:97.6%、前年度実績:18,768人)						こども政策課
2	3	6	私立高等学校等授業料補助	私立高等学校等に通学されている家庭の負担を軽減するため、所得の状況に応じて授業料の一部を助成します。	私立高等学校、専修学校に通学されている家庭の保護者の負担を軽減するため、国・県の上乗せ助成として、所得の状況・区分に応じて授業料の一部を助成した。令和2年度から、県の補助区分 甲・乙に対し、年額8万円(上限)とした。 424人 (前年度比:126.1%、前年度実績:336人) 18,828,739円 (前年度比:117.8%、前年度実績:15,970,565円)	3	国・県の補助額が引き上げられたが、補助対象者数は昨年より上回った。今まで補助されていなかった乙区分の方に補助することができたため。	対象者数は例年より上回り、補助総額も昨年度より上回った。	令和3年度と同様に実施		学校教育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施 策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評 価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員から の意見	担当課
2	3	7	就学援助費の支給	経済的な理由で就学が困難な児童または生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を援助します。	小学校 721人(前年度比:90.8%、前年度実績:794人)、55,536,592円 中学校 441人(前年度比:106.8%、前年度実績:413人)、50,940,763円	3	例年並み	制度の主旨や仕組みに対する問い合わせが多いため、制度内容をより一層わかりやすく周知する必要がある。	令和3年度と同様に実施		学校教育課
2	3	8	奨学交付金の支給	向学心に富み、かつ経済的に恵まれない生徒に対し、高等学校等に入學する際の準備金を支給します。	対象者 45人 支給額 1人あたり12万円	3	例年と同じ	特になし	令和3年度と同様に実施		学校教育課
2	3	9	児童クラブ保護者負担金の減免	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、負担金を減免します。また多子世帯に対しても減免を行います。	受益者負担の原則を踏まえ利用状況に応じたクラブ費見直し制度を実施した。 ＜制度利用者数＞R4.3月時点 多子減免:704人 非課税世帯:65人 生活保護世帯:3人 (クラブ加入者児童数:1,774人)	3	制度導入に向けた周知と事務を適正に進めることができたため、クラブ加入者数のうち、およそ4割の加入児童の費用負担の軽減を実現することができた	クラブ加入者数のうち、およそ4割の加入児童の費用負担の軽減を実現することができた。今後は減免制度を導入した結果として加入児童数の動向や、制度利用に伴う保護者負担などの課題を把握する必要がある。	令和4年度においても引き続き実施状況を基に効果等を分析する。		こども政策課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	4	1	女性のための就労支援講座事業	経済的に困難な状況にある女性の就労・自立支援のための講座等を開催します。	○出産や育児、介護を期に離職した女性に対する再就職支援のため、また、起業を希望する女性に対し起業に必要な知識を得るための就労支援講座を2講座開催した。 ・あなたの就活応援します！ポイントメイクレッスン 全2回 5人受講 ・3日で学ぶ穂満式成功術 起業女子の第一歩～なりたい自分になる！～ 全3回 7人受講	3	R3年度においても、万全なコロナ対策を行いながら、R2年度の就労支援講座開催数と同数の2講座を開催することができたため。	・再就職支援の一環として、面接時に好感を持たれやすいメイクの仕方を学ぶ講座を開催したが、申込数があまり伸びなかった。次回以降はより興味を持てる内容の講座を検討し、実施していきたい。 ・起業したい女性たちが互いに支え合い、向上するサークルを結成することができた。活動がより活発になるよう、R3年度も同じ講座を開催し支援を行い、ウィメンズネットこまき加入を促して活躍の場を設ける。	・再就職支援として面接対策の講座を、起業に必要な知識を得るための講座として起業女子講座を開催する。 ・育児や介護等で離職した女性の再就職支援のため、愛知県女性働き手創出支援事業を利用した相談を商工振興課と協働して開催する。 ・起業したい女性たちが互いに支え合い、向上するサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。		多世代交流プラザ
2	4	2	母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭が急激な環境の変化や疾病などにより、一時的に生活支援が必要な場合、家庭生活支援員を派遣して生活の安定を図ります。	令和3年度：ヘルパー派遣4世帯、延べ派遣時間 54.5H ＜参考＞ 令和2年度：ヘルパー派遣2世帯、延べ派遣時間65H	3	例年通りの利用実績であったため。	ひとり親家庭にヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。	引き続き、ひとり親家庭にヘルパーを派遣し、生活の安定を図っていく。また、家事的な援助だけでなく、在宅での子どもの見守り支援も実施していく。		子育て世代包括支援センター
2	4	3	母子・父子相談	母子及び父子家庭の生活上の問題、子どもに関するものの相談窓口として母子・父子自立支援員を配置し、相談体制の充実を図ります。	令和3年度：986件(母子相談) 141件(父子相談) ＜参考＞ 令和2年度：877件(母子相談) 88件(父子相談)	3	例年通りの利用実績であったため。	母子・父子自立支援員2名を配置し、各種研修を通じ、資質向上を図った。	令和4年度より母子・父子自立支援員をキャリアコンサルタント有資格者とし、相談体制の充実を図っていく。		子育て世代包括支援センター
2	4	4	ひとり親家庭への就業支援	ひとり親家庭の経済的自立を図るため、職業能力講座を受講した場合に受講料を助成する自立支援教育訓練給付金や、看護師等の養成機関で修学する場合に支給する高等職業訓練促進費などにより、就業の支援を行います。	令和3年度実績 ・自立支援教育訓練給付金：3人 ・高等職業訓練促進費：7人 ＜参考＞ 令和2年度実績 ・自立支援教育訓練給付金：2人 ・高等職業訓練促進費：9人	3	例年通りの利用実績であったため。	母子・父子自立支援員を通じ、ひとり親への自立支援を図った。	引き続き、母子・父子自立支援員を通じ、ひとり親への自立支援を図っていく。また、昨年度から時限措置で実施している高等職業訓練促進給付金の受講対象期間(12月から6月)の緩和を令和4年度も実施していく。		子育て世代包括支援センター
2	4	5	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援金の支給	高等学校を卒業していないひとり親家庭の父母や、20歳未満の子を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。	令和3年度 ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援金：1人 ＜参考＞ 令和2年度 ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援金：0人	3	例年通りの利用実績であったため。	母子・父子自立支援員を通じ、ひとり親への自立支援を図った。	引き続き、母子・父子自立支援員を通じ、ひとり親への制度周知や自立支援を図っていく。		子育て世代包括支援センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
2	4	6	ひとり親家庭への手当の支給	父親または母親のいない児童を養育している保護者に児童扶養手当、県・市遺児手当を支給します。	国・市の制度に則って、年6回の支給を遅滞なく行った。 ＜児童数(延べ人数)＞ 児童扶養手当:19,369人 (前年度比:102.6%、前年度実績:18,871人) 遺児手当:21,591人 (前年度比:100.7%、前年度実績:21,451人) ※県遺児手当は、愛知県が支給事務を行っている。						こども政策課
2	4	7	ひとり親家庭等入学支援金の支給	大学等に入学するひとり親家庭等の子に対し、準備金を支給します。	令和3年度申請 30件 (前年度比78.9% R2実績38件)	3	例年と同様の周知を行い、事業を実施したため。	申請件数は近年減少傾向にあるが、その要因について把握することは難しいが、周知不足とならないようにする必要がある。	対象となる方の申請へつながるように、引き続き広報やホームページ等を活用し、周知の仕方も工夫していく。	有	こども政策課
2	4	8	母子父子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭、父子家庭等及び寡婦に対して経済的自立の助成や児童の福祉の増進を図ることを目的として資金の貸付を行います。	令和3年度新規貸付決定件数:0件 ＜参考＞ 令和2年度新規貸付決定件数:4件	2	貸付金の支払日が限られており、利用者の必要とする期日に間に合わないことや、貸付条件に合致しないことで、申し込みに至らなかったため。	貸付金の支払日が限られており、利用者の必要とする期日に間に合わないことや、貸付条件に合致しないことで、申し込みに至らなかった。	引き続き、制度の周知に努め、経済的支援が必要な母子・父子家庭の援助の一環として事業の推進に努める。		子育て世代包括支援センター
2	4	9	母子・父子家庭医療費助成制度	児童扶養手当・市遺児手当の受給者と手当対象児童について、健康保険の保険診療の自己負担分を助成します。	受給者数:2,528人(R3年度末時点) (前年度比:98.6%、前年度:2,563人)						保険医療課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	5	1	こども家庭総合 拠点事業の実施	利用者支援事業をはじめ関係機関と連携し、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、福祉に関する必要な支援に係る業務(相談への対応、情報提供、要支援・要保護児童への支援など)を総合的に実施する体制を子育て世代包括支援センター内に整備します。また、児童虐待対策基本計画の策定を検討します。	令和2年4月より、子育て世代包括支援センター内にこども家庭総合支援拠点を設置した。	3	こども家庭総合支援拠点を設置し、関係機関と連携し、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、福祉に関する必要な支援に係る業務(相談への対応、情報提供、要支援・要保護児童への支援など)を総合的に実施した。	虐待専門相談員1名、家庭児童相談員2名、正規職員(社会福祉士)1名を配置し、相談体制の充実を図っている。	令和4年度より正規職員(社会福祉士)を1名増員し、妊娠期から子育て期にわたり、子育てのワンストップ窓口となるよう、更なる相談体制の充実を図っていく。関係機関と連携し、要支援児童や療育、障がい児への相談支援体制を検討していく。		子育て世代包括支援センター
2	5	2	家庭児童相談	家庭における児童問題や家族の相談に応じ、適切な指導・助言を行います。	令和3年度 451件(延べ件数) ＜参考＞令和2年度 566件(延べ件数)	3	例年通りの利用実績であったため。	研修会に参加し、質の向上に努めた。また、関係機関とのネットワーク会議にも多数参加するなど、適切な関係機関に繋ぐことも含め、相談者の問題解決に努めた。	引き続き、研修会等に参加し、質の向上に努める。また、関係機関とのネットワーク会議にも参加し適切な関係機関に繋ぐことも含め、相談者の問題解決に努める。		子育て世代包括支援センター
2	5	3	児童虐待防止のための早期発見・早期対応	保健、医療、福祉、教育ならびに児童相談所など児童問題に関連する各関係機関との連携を強化し、児童虐待の早期発見と適切で迅速な対応を図ります。	令和3年度要保護児童対策地域協議会実務者会議におけるケース実件数:492件 ＜参考＞ 令和2年度実件数:454件	3	昨年に引き続き、新規ケースが増加しているため。(特に夫婦喧嘩の目撃による心理的虐待のケースが増加している。)	要保護児童対策地域協議会の関係機関(子育て世代包括支援センター、保健センター、児童相談センター、学校教育課、福祉総務課、警察等)が持っている情報を共有し、連携を図り対応した。	引き続き、関係機関との情報共有・連携に努め、児童虐待の早期発見・対応を図っていく。また、保育園や教育委員会と連携し、要保護児童を常時モニタリングするため、見守り支援票の運用を開始し、情報共有の強化を図る。		子育て世代包括支援センター
2	5	4	要保護家族のフォローケア事業	虐待を受けた子どもの保護・救済だけでなく、虐待した親・保護者に対するフォローケアについても、要保護児童対策地域協議会で対応します。	要保護児童対策地域協議会代表者会 年1回開催 要保護児童対策地域協議会実務者会議 毎月1回開催	3	要保護児童対策地域協議会代表者会議を中心に関係機関の連携を図った。要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、虐待を受けた子ども・虐待した親・保護者のフォローケアに努めた。	実務者会の他にも必要に応じて、個別のケース会議を開催し、各機関の役割分担を決めフォローケアに努めた。	引き続き、要保護児童対策地域協議会実務者会議を中心に関係機関の連携を図り、被虐待児童等のフォローケアに努めていく。		子育て世代包括支援センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	6	1	発達に合わせた療育事業	一人ひとりの障がいの程度に合った保育・療育の機会が得られるようにきめ細やかな対応に努めます。市内5施設と、ふれあい総合相談支援センターにて相談支援、子育て世代包括支援センター内で出張相談を行います。 あさひ学園においては、母子通園による療育支援を行うとともに、相談支援も行います。	年間の利用者 実数134名 (前年度比:110.7%、前年度実績:121名)	4	あさひ学園の利用者数は分散登園の利用者が増えたことにより前年と比べて増加した。 市内の6か所での相談支援及び子育て世代包括支援センター内で出張相談は予定どおり実施できた。	強度行動障害の子どもなど事業所のみでは対応が難しい場合があり、障がい特性の理解、事例検討、相談支援事業所との連携強化の必要を感じる。	保育園、幼稚園を対象にあさひ学園の保育見学を実施する。サービス事業所向けの研修会や事例検討などを行いサービスの質の向上を図る。		障がい福祉課
2	6	2	特別な支援を必要とする子どもへの支援	障がいのある子どもの自立と社会参加に向けた主体的な取組みを支援するため、子どもが示す困難に対応した教育相談を実施し、ニーズに合わせた指導や支援ができるように努めます。こどもこころの相談員による相談や、特別支援教育相談員・学校生活サポーターの配置、関係特別支援学校による相談などの取組みを通じて、支援を行います。	こどもこころの相談員による相談:216回 (前年度比:143.0%、前年度実績:151回) [有識者208回、医師8回] 特別支援教育相談員の配置 指導主事による相談 関係特別支援学校による相談	3	特別支援教育に関する相談について、早期の相談による就学支援及び医師、有識者による学校現場への派遣により適切な特別支援教育への支援を行った。	特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあるため、安全な学校生活が送れるよう支援体制を充実させる必要がある。	令和3年度と同様に実施		学校教育課
2	6	3	幼稚園・保育園・認定こども園・児童クラブにおける障がい児の受け入れ推進	集団保育の可能な障がいのある子どもの受け入れを積極的に行い、障がい児保育の充実に努めます。	(保育事業:保育園、認定こども園2・3号) R3年度対象者数:97人 前年度対象者数:78人 前年度比124.3% (教育事業:幼稚園、認定こども園1号) R3年度対象者数:63人 前年度対象者数:66人 前年度比95.4%	3	現行の体制の中で、可能な限り受け入れを行った。 (児童クラブ) 児童クラブ及び保護者の同意のもと、受け入れを実施。 対象児童(長期休業のみ利用者含む) R2:54人、R3:44人	各園で需要に応じた職員配置(障がい児加配等)が必要となるが、保育士や幼稚園教諭の確保が大きな課題 (児童クラブ) 医療機関により診断されていないが特別な対応が必要な児童もあり、今後も需要の増加が見込まれる。また慢性的な支援員不足解消や、様々な障がい児に対する専門的な知識や経験を持った支援員の確保も課題。	可能な限り需要に対応できるように継続していく。 (児童クラブ)) 研修による職員の知識習得を深める。また対応が必要な巡回指導員、青少年指導員、学校及び保護者と連携し協力関係をもって対応する。		幼児教育・保育課 こども政策課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
2	6	4	障害児通所支援	児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援により、日常生活や集団生活のルールなどを学ぶ身近な療育の場を提供します。	年間の利用者 実数671名 (前年度比:113.0%、前年度実績:594名)	4	障がい福祉計画における見込量の505名を上回る利用があった。	利用ニーズが高く、新しい事業所も多いため、より一層のサービスの質の向上に努める必要がある。	サービス事業所向けの研修会や事例検討などを行いサービスの質の向上を図る。 作成した事業所案内の冊子を活用して、児童発達支援や放課後等デイサービス事業所の案内をする。		障がい福祉課
2	6	5	障害児福祉手当・特別児童扶養手当の支給	在宅の20歳未満の人で心身に著しく重度の障がいがあり、日常生活において特別な介護が必要な人に障害児福祉手当を支給します。 また心身に障がいのある在宅の20歳未満の児童を養育している人に、特別児童扶養手当を支給します。	障害児福祉手当 91人(3月末現在) [前年度比:95.8%、前年度実績:95人] 特別児童扶養手当 379人(3月末現在) [前年度比:111.8%、前年度実績:339人]						障がい福祉課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
3	1	1	保育園の適正配置・整備	本計画や本市の関連計画に基づき、民間事業者による私立保育園の新設や公立保育園の統廃合や整備等による保育園の適正配置・整備を継続して行うことで、多様な保育ニーズへの対応を図ります。	令和4年4月から一色保育園を民間移管した事業者と合同保育を実施した。 「小牧市第一幼稚園のあり方に関する検討部会」からの提言を受け、今後の事業案について検討を進めた。	3	第2期小牧市子ども・子育て支援事業計画に基づき、計画的に進めることができた。	第2期小牧市子ども・子育て支援事業計画に基づき、第一幼稚園も含め、既存の保育園の適正配置等に考慮しながら、具体的な方針を策定する必要がある。	継続して具体的な方針の策定を進めていく。		幼児教育・保育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
3	2	1	幼児教育・保育の無償化	国の実施する幼児教育・保育の無償化に加え、市独自の制度として第3子以降の子どもの副食費を免除します。 新制度未移行の幼稚園を利用している同一生計世帯の子どものうち、第3子以降の子どもの保育料の無償化上限額25,700円(月額)を超えた額を補助します。	基本目標2 施策3「No.1 幼児教育・保育の無償化」のとおり						幼児教育・保育課
3	2	2	保育サービスの充実	保育ニーズの変化に対応するため、一時保育や延長保育、休日保育など、多様な保育サービスを実施します。	●一時保育 基本目標2 施策1「No.2.3 一時預かり事業」のとおり ●延長保育 R3年度実利用者数:267人 前年度実利用者数:213人 前年度比125.3% ●休日保育 R3年度延べ利用者数:133人 前年度延べ利用者数:62人 前年度比214.5%	3	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少していたが、例年と同程度の利用があった。	需要に対応するための人材確保等が課題	可能な限り需要に対応できるよう継続していく。		幼児教育・保育課
3	2	3	教育・保育の質の向上	教育・保育の質の向上、幼稚園教諭・保育士・保育教諭☆の専門性の向上、質の高い人材の安定的な確保のため、幼稚園教諭・保育士・保育教諭の研修体制の充実に積極的に取り組んでいくとともに、職員の処遇改善につながる各種方策を検討していきます。	公私問わず広く参加を呼びかけ、全体研修、年齢別研修などを実施し、幼児教育・保育の質の向上に努めた。 R3年度研修実施回数:33回 前年度研修実施回数:23回 前年度比143.4%	3	新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少していたが、例年と同程度の開催数を実施できた。	私立幼稚園では、愛知県や(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、(公社)愛知県私立幼稚園連盟等が主催する各種研修会に加え、各園の教育方針や特色ある教育に応じた各種研修に積極的に参加しているが、参加者数等は把握できていない。	市内の教育・保育の質の向上のため、公私問わず、市内全ての保育施設と幼稚園の積極的な参加を推進する必要がある。		幼児教育・保育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
3	2	4	私立幼稚園への支援	私立幼稚園が園の振興と幼児教育の増進を図るために実施する事業や、私立幼稚園連合協議会が人材育成のために実施する情報交換や研修などの各種事業を支援します。	各園および私立幼稚園連合協議会に対し、幼児教育の増進、園児の安全確保及び園の振興を図ることを目的とし、必要な経費の一部を補助した。 R3年度補助実績額:5,995,488円 前年度補助実績額:6,430,488円 前年度比93.2%	3	「小牧市私立幼稚園運営費等補助金交付要綱」に基づき、適切に執行できた。	幼児教育・保育の無償化制度の導入により、市との情報共有・連携がより一層重要になってきている。	今後も継続して取り組んでいく。		幼児教育・保育課
3	2	5	認定こども園化の支援	私立幼稚園の認定こども園化に向け、事業者に対する支援を行います。	相談があった園に対し、事務手続きや制度説明等を行った。	3	相談があった園の事情に応じて、対応することができた。	活用できる各種補助制度の情報提供や事務手続きや制度説明などを行い、個別に対応している。	今後も必要に応じて、支援していく。		幼児教育・保育課
3	2	6	小中学校との連携の推進	幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校が参加する幼年期教育連携推進会議での検討を踏まえながら、幼児教育・小中学校教育の連携の強化と質の向上への取組みを推進します。	幼年期教育連携推進会議を開催した。 また、幼年期教育研修会は新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB研修に切り替えた。 R3年度研修参加者数:30人(※研修受講報告より) 前年度研修参加者数:33人 前年度比90.9%	2	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前よりは参加者が減少しているが、令和2年度に引き続きWEB開催したことにより、昨年度と同程度の参加者数があった。	子ども達の連続した学びを共通のものとし、幼稚園、保育園、小中学校がそれぞれ取り組んでいることを理解し合うための研修内容について、検討していく必要がある。	今後も継続して取り組んでいく。		幼児教育・保育課

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
4	1	1	親子健康手帳交付	親子健康手帳の交付の機会を捉え、父親と母親との協力関係の構築、育児不安などの軽減を図ります。 小牧市独自の親子健康手帳を活用することで、父親や母親としての意識を高め、「二人で子育て」ができるよう、また、子どもが「愛されて成長してきたこと」を実感し、「命の大切さ、尊さ」を学べるよう支援します。	令和3年度妊娠届出者数:1,028件 【参考】 令和2年度妊娠届出者数:1,071件						子育て世代包括支援センター
4	1	2	妊婦健康診査事業	母子ともに健康で、安全・安心に出産を迎えられるよう、妊娠中の定期的な健康診査により、母子の健康管理を支援します。	対象者数:1,113人 健診実施総回数:13,516件						子育て世代包括支援センター
4	1	3	パパママ教室・離乳食教室	パパママ教室を開催し、安心して妊娠・出産・育児にのぞめるよう支援するとともに、家族と一緒に子育てをする気持ちづくりの助けをします。 また、離乳食教室を開催し、各時期に応じた適切な離乳ができるよう指導・助言を行います。	パパママ教室を開催し、安心して妊娠・出産・育児にのぞめるよう支援するとともに、家族と一緒に子育てをする気持ちづくりの助けをした。(パパママ教室:4回開催。新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令のため、2回中止、1回は個別対応〔前年度比66.6%、前年度実績6回〕42組参加うち夫の参加42人)	3	パパママ教室については緊急事態宣言の発令に伴い、5月、9月は中止。11月は講義は実施せず、体験のみ個別で実施した。	緊急事態宣言下での教室の中止に加え、医療機関での妊婦教室等が再開したところもあり、希望者も減少したと考えられる。	パパママ教室を通して夫婦が家庭においてお互いを尊重して育児できるよう支援していく。		保健センター
4	1	4	産前産後ヘルパー事業	妊娠中から産後6ヶ月(双子以上の場合12ヶ月)にかけて、母親の体調不良などの理由により家事を行うことが困難で、家族からの援助も十分受けられない場合に、市が委託する事業者からヘルパーを自宅に派遣し、家事の援助を行います。	令和3年度:支援を必要としている家庭(実13件)に対して、延203時間支援を実施。 ＜参考＞ 令和2年度:支援を必要としている家庭(実9件)に対して、延43時間支援を実施。	4	親子健康手帳交付時に産前産後ヘルパー事業について、必要な家庭が利用できるよう周知し、件数、時間数ともに増加している。	親子健康手帳交付時に産前産後ヘルパー事業について、必要な家庭が利用できるよう周知している。	引き続き、母子手帳交付時に周知を図っていく。		子育て世代包括支援センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
4	2	1	育児相談	発達相談・運動発達相談や、母乳相談、児童館で開催する育児相談、育児相談専用電話「こまねっと」等を通じて育児に関する相談を行い、育児不安の軽減を図ります。	令和3年度実績 母乳相談:157件 児童館巡回育児相談:454件 【参考】 令和2年度実績 母乳相談:106件 児童館巡回育児相談:390件	3	感染対策を行うことで、新型コロナウイルス拡大前と同程度の相談対応を実施することができた。	長引くコロナ禍で、感染不安から外出を制限するなど、孤立した状態で子育てしている家庭が増え、それに伴い育児不安等で相談件数が増加したと考えられる。	新型コロナウイルスによる影響は次年度も継続することが考えられるが、万全の感染対策を行い、必要な相談支援を行っていく。		子育て世代包括支援センター 保健センター
4	2	2	産後ケア事業	産後、母親の体調不良や育児不安があり家族から十分な援助が受けられない産後4ヶ月未満の母親とその乳児を対象に、市と契約している産婦人科医療機関等で、心身のケアや育児サポートなどきめ細やかな支援を実施します。	令和3年度実績 ショートステイ 実25組 延107日 デイケア 実4組、延7日 ＜参考＞ 令和2年度実績 ショートステイ 実18組 延83日 デイケア 実1組、延1日	3	新型コロナウイルス感染対策を行うことで、利用者が増加しても対応することができた。	コロナ禍での出産・産後のため、病院に来院できる方が産婦・出産した赤ちゃんに限られている。そのため、第2子以降の出産の場合、兄弟がいるため利用をしないと考える方がいる。	新型コロナウイルスの影響は、次年度も継続することが考えられる。自宅等でも病院と同様のサポートが得られるよう、アウトリーチをメニューに追加し、きめ細やかな支援を実施していく。		子育て世代包括支援センター
4	2	3	乳児家庭全戸訪問事業	育児をスタートしたばかりの不安の大きい時期に保健連絡員等が訪問し、親子の成長を見守るとともに、必要な家庭に対し専門的、継続的支援につなげます。	対象1042人中、618人に訪問を実施。(前年度比75.1%、前年度実績823人) そのうち、継続支援につながったケース38件。	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響で訪問を見合わせた件数が多く、訪問実施件数が減少した。	緊急事態宣言下での積極的な訪問を控えるよう呼びかけたことに加え、コロナ禍での訪問に保健連絡員、保護者の双方が不安を感じ、訪問を見合わせたケースも多く、訪問件数が減少したと考えられる。訪問する側される側双方が安全安心できるような訪問となるよう今後も実施方法について適宜検討し対応していく。	引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施しながら、安心安全な事業の継続に努める。 コロナ禍でも地域の親子が孤立しないよう見守り、支援につなげる地域づくりを意識した保健連絡員への働きかけは継続して行っていく。		保健センター
4	2	4	養育支援訪問事業	育児支援が必要な方を対象に助産師が訪問し、継続的な支援を進めます。	令和3年度実績 訪問世帯数:626件 【参考】 令和2年度実績 訪問世帯数:479件	3	新型コロナウイルス感染対策を標準化することで、必要とする家庭への訪問を可能な限り実施。新型コロナウイルス感染拡大前の件数へ近づいた。	コロナ禍でありながらも、訪問指導を必要とする家庭があり感染対策を徹底することで、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の相談対応ができたと考えられる。	新型コロナウイルスによる影響は次年度も継続することが考えられるが、万全の感染対策を行い、必要な訪問支援を行っていく。		子育て世代包括支援センター
4	2	5	保健師・栄養士・歯科衛生士による訪問	育児不安の軽減を図るために訪問し、必要な支援を実施します。	育児不安の軽減を図るために訪問し、必要な支援をした。(延べ716件〔前年度比:108.6%、前年度実績:659件〕妊婦:38件、乳児220件、幼児214件、母親他244件に対して訪問にて保健指導を実施)	3	子育て世代包括支援センターと保健センターで情報を共有し、妊娠前から切れ目ない支援を目指し、地区担当保健師による家庭訪問を実施している。	コロナ禍において、感染不安から外出を制限するなどして、孤立した状態で子育てしている家庭が増えていると考えられる。	訪問が必要な親子に対して、他機関と連携しながら支援していきます。切れ目ない支援を図り、保護者の不安軽減へとつながるよう支援していきます。		保健センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの意見	担当課
4	2	6	乳幼児健康診査・歯科健康診査	ほぼ全員の親子と会うことができる健康診査において、疾病の早期発見のみならず乳幼児の心と体の成長・発達を保護者と確認するとともに、育児支援に視点をのいた健康診査を進めます。	乳幼児健診時では乳幼児の成長発達を保護者と確認し、育児支援の視点を重視した健康診査を実施した。 4か月児健診(44回)1000人 1歳6か月児健診(36回)1031人 2歳3か月児歯科健診(24回)967人 3歳児健診(36回)1097人 ※受診者数は集団健診受診者。他市受診や医療機関受診を含まず	3	ほぼ全員の対象と会うことのできる健診の機会に疾患の早期発見・治療だけでなく、育児支援も重視した健康診査を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団健康教育を省略し、育児相談で補足してきた。今後は感染対策を講じた上で集団健康教育を再開し、育児相談をより個別性に合わせた育児支援を重視したものとなるよう努める。	引き続き、育児支援を重視した健康診査を継続していきます。		保健センター
4	2	7	母親歯科健康診査	産後、口腔内環境が悪化しやすい母親に対し、歯科疾患の早期発見、早期治療を図るとともに、子どもへの感染予防を図るため、母親を対象とした歯科健診を行います。	4か月児健診開催時にあわせ、母親を対象とした歯科健診を実施し、歯科疾患の予防及び早期発見・早期治療につなげるとともに、個々の状況に応じた個別指導を実施し、家族ぐるみで歯科疾患を予防できるよう意識の向上を図った。(母親歯科健診受診率94.0%)						保健センター

第4章 施策の展開

※評価…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

基本 目標	施策	No	取組み	内容	実績(R3年度)	評価	評価理由	現状分析、課題	取組内容(次年度)	委員からの 意見	担当課
4	2	8	予防接種	適切な時期に予防接種ができるように個別通知を行い、感染の恐れのある疾病の罹患予防及び蔓延の予防を図ります。	適切な時期に予防接種ができるよう予診票を送付して支援に努めた。健診等で来所した際に接種歴を確認し、未接種者に対し指導と助言を行った。BCG99.4%、麻しん風しん混合第1期89.4%、麻しん風しん混合第2期90.9% 前年度実績:BCG89.2%、麻しん風しん混合第1期98.2%、麻しん風しん混合第2期92.5%(※厚生労働省が予防接種の統計を行う時に用いている「標準的な接種年齢期間の総人口から求め、これを12ヶ月相当人口に推計する」という考えに則って母数を決めているため100%を超えることもあります。)						保健センター
4	2	9	アニバーサリー事業	「アニバーサリー事業」として、子育て世代包括支援センター及び市内児童館において1歳のお誕生日の節目に絵本等をプレゼントし、その機会に情報提供や育児相談を行い、必要に応じて関係機関と連携して継続支援します。	令和3年度実績 837件(83.0%) ＜参考＞ 令和2年度実績 835件(83.7%)	3	昨年度から、未来所者に再通知を送付したこと、少しずつ事業の周知がされてきたことにより、来所者数及び実施数の維持した。	コロナ禍において、感染不安から外出を制限するなどして、孤立した状態で子育てしている家庭が増えていることが考えられる。	新型コロナウイルスの影響は、次年度も継続することが考えられることから、万全の感染予防対策を継続しながら支援を継続していく。		子育て世代包括支援センター
4	2	10	自己肯定感の醸成	「世界でかけがえのない たったひとつの大切な命」であることを自分自身が知り、ありのままの自分を受け入れ、いのちを大切にできるよう、市内の小中学校において「小牧市生と性のカリキュラム」を推進するとともに、地域や乳幼児を持つ保護者にも働きかけます。	子どもの自己肯定感がどのように高められるかをわかりやすく説明した動画を配信し、乳幼児を持つ親とそれを支えてく地域の人々に伝えた。また、市内の小中学校において、「小牧市生と性のカリキュラム=小学校・中学校版」を推進した。動画配信のPRチラシを乳幼児健診等で配布、出前講座、生と性のカリキュラム小学校16校・中学校6校・高等学校2校※中学校の残り3校は学校独自で実施)	2	市内の小・中・高等学校と連携し、感染状況を見ながら、やり方を工夫しながら授業を実施している。	令和3年度の小学生の実施については、令和2年度同様保護者の受講はできなかったが、感染症対策を講じたうえで実施。中学校は6校で実施したが、生徒数の多い学校3校については学校独自で実施された。高等学校はさらに生徒数が多いため、感染時期を見ながらの実施は難しいことが考えられる。	小・中・高等学校と連携し実施していきます。また、今年度は中学校2年生の生徒に対し、性に関するアンケートを実施し、性についての課題を見出し今後の取り組みにつなげたい。		保健センター

3 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保

(1) 教育事業の見込みと確保の方策

事業名	幼稚園、認定こども園	提供区域	3区域
事業内容	●学校教育法に基づき、幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する幼児教育を実施する事業 ●全市域の幼稚園は9園(公立1園、私立8園) ●全市域の認定こども園数は2か所		

●全市

見込み

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み(市内)		2,106	2,054	2,002	1,950	1,898
内 訳	1 号	1,685	1,645	1,604	1,563	1,522
	2 号	421	409	398	387	376
②確保の内容		2,559	2,559	2,559	2,559	2,559
②-①		453	505	557	609	661

実績(各年度5月1日現在の利用実績)

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		1,518	1,342			
内 訳	1 号・新1号	1,203	1,045			
	新2号	314	297			
	新3号	1	0			
②確保の内容		2,559	2,559			
②-①		1,041	1,217	0	0	0

備考

--

●東部地区

見込み

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み(市内)		1,011	986	961	937	911
内 訳	1 号	809	790	770	751	731
	2 号	202	196	191	186	180
②確保の内容		1,229	1,229	1,229	1,229	1,229
②-①		218	243	268	292	318

実績

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		491	448			
内 訳	1 号・新1号	331	308			
	新2号	159	140			
	新3号	1	0			
②確保の内容		1,229	1,229			
②-①		738	781	0	0	0

備考

--

●中部地区

見込み

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み(市内)		840	819	798	777	757
内 訳	1 号	672	656	639	623	607
	2 号	168	163	159	154	150
②確保の内容		1,020	1,020	1,020	1,020	1,020
②-①		180	201	222	243	263

実績

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		837	734			
内 訳	1 号・新1号	694	592			
	新2号	143	142			
	新3号	0	0			
②確保の内容		1,020	1,020			
②-①		183	286	0	0	0

備考

--

●西部地区

見込み

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み(市内)		255	249	243	236	230
内 訳	1 号	204	199	195	189	184
	2 号	51	50	48	47	46
②確保の内容		310	310	310	310	310
②-①		55	61	67	74	80

実績

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		190	160			
内 訳	1 号・新1号	178	145			
	新2号	12	15			
	新3号	0	0			
②確保の内容		310	310			
②-①		120	150	0	0	0

備考

--

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

3 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保

(2) 保育事業の見込みと確保の方策

事業名	保育園、認定こども園、地域型保育事業	提供区域	3区域
事業内容	●児童福祉法に基づき、保護者の労働、疾病等の理由で、家庭において乳幼児を保育することができない保護者に代わって、その乳幼児の心身の健全な発達をめざし保育することを目的とする事業 ●全市域の保育園は21か所 ●中部地区に地域型保育事業(小規模保育事業)は17か所 ●全市域の認定こども園数は2か所		

●全市

見込み

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	2,179	2,256	2,336	2,419	2,505
②確保の内容	2,384	2,384	2,464	2,464	2,544
②-①	205	128	128	45	39

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	142	147	152	157	163
②確保の内容	160	160	169	169	178
内 訳					
保育園・認定こども園	103	103	112	112	121
地域型保育	57	57	57	57	57
②-①	18	13	17	12	15

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	871	902	934	967	1,001
②確保の内容	982	982	1,013	1,013	1,044
内 訳					
保育園・認定こども園	745	745	776	776	807
地域型保育	237	237	237	237	237
②-①	111	80	79	46	43

実績

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	1,802	1,780			
②確保の内容	2,344	2,339			
②-①	542	559	0	0	0

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	50	52			
内 訳					
保育園・認定こども園	38	37			
地域型保育	12	15			
②確保の内容	160	161			
②-①	110	109	0	0	0

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	797	786			
内 訳					
保育園・認定こども園	606	598			
地域型保育	191	188			
②確保の内容	982	986			
②-①	185	200	0	0	0

備考

令和3年度以後に利用定員数を変更した施設は以下のとおり

《令和3年度》

●中部地区

R3.4.1 レイモンド小牧保育園 2号認定(3-5歳児)5人減少 3号認定(1歳児)5人増加
R3.4.1 キラッとKIDSサポート託児ルーム 3号認定(2歳児)1人減少 (0歳児)1人増加

●東部地区

見込み

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	442	458	459	475	477
②確保の内容	484	484	484	484	484
②-①	42	26	25	9	7

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	25	26	25	26	26
②確保の内容	28	28	28	28	28
②-①	3	2	3	2	2

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	152	157	158	163	164
②確保の内容	171	171	171	171	171
②-①	19	14	13	8	7

実績

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	311	294			
②確保の内容	464	464			
②-①	153	170	0	0	0

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	5	3			
②確保の内容	28	28			
②-①	23	25	0	0	0

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	118	113			
②確保の内容	171	171			
②-①	53	58	0	0	0

備考

--

●中部地区

見込み

単位(人)

<2号認定>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み		1,327	1,374	1,452	1,504	1,587
②確保の内容		1,452	1,452	1,532	1,532	1,612
②-①		125	78	80	28	25

<3号認定:0歳児>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み		98	102	108	111	118
②確保の内容		111	111	120	120	129
内 訳	認定こども園・保育園	54	54	63	63	72
	地域型保育	57	57	57	57	57
②-①		13	9	12	9	11

<3号認定:1~2歳児>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み		567	588	618	641	673
②確保の内容		640	640	671	671	702
内 訳	認定こども園・保育園	403	403	434	434	465
	地域型保育	237	237	237	237	237
②-①		73	52	53	30	29

実績

単位(人)

<2号認定>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		1,157	1,152			
②確保の内容		1,452	1,447			
②-①		295	295	0	0	0

<3号認定:0歳児>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		37	41			
内 訳	保育園・認定こども園	25	26			
	地域型保育	12	15			
②確保の内容		111	112			
②-①		74	71	0	0	0

<3号認定:1~2歳児>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績		531	548			
内 訳	保育園・認定こども園	340	360			
	地域型保育	191	188			
②確保の内容		640	644			
②-①		109	96	0	0	0

備考

令和3年度以後に利用定員数を変更した施設は以下のとおり

《令和3年度》

●中部地区

R3.4.1 レイモンド小牧保育園 2号認定(3-5歳児)5人減少 3号認定(1歳児)5人増加

R3.4.1 キラッとKIDSサポート託児ルーム 3号認定(2歳児)1人減少 (0歳児)1人増加

●西部地区

見込み

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	410	424	425	440	441
②確保の内容	448	448	448	448	448
②-①	38	24	23	8	7

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	19	19	19	20	19
②確保の内容	21	21	21	21	21
②-①	2	2	2	1	2

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	152	157	158	163	164
②確保の内容	171	171	171	171	171
②-①	19	14	13	8	7

実績

単位(人)

<2号認定>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	334	334			
②確保の内容	428	428			
②-①	94	94	0	0	0

<3号認定:0歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	8	8			
②確保の内容	21	21			
②-①	13	13	0	0	0

<3号認定:1~2歳児>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	148	125			
②確保の内容	171	171			
②-①	23	46	0	0	0

備考

--

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(1) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の見込みと確保の方策

事業名	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	提供区域	小学校区
事業内容	●昼間保護者が就労などで家庭にいない小学校に就学している児童を対象として、放課後等に家庭に代わる適切な遊びと生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を図る事業 ●16小学校区で実施		

見込み

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (通年、長期休業 期間利用者を含む)	1年生	480	470	455	435	414
	2年生	437	431	412	395	381
	3年生	380	375	359	344	332
	4年生	281	280	264	254	247
	5年生	174	174	165	159	151
	6年生	77	77	78	75	65
	合 計	1,829	1,807	1,733	1,662	1,590
②確保の内容	合 計	2,449	2,449	2,449	2,449	2,449
	内通年利用	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652
②-①		620	642	716	787	859

※週6日開所している児童クラブを毎日利用すると登録する児童を6/6人=1人、週5日利用すると登録する児童を5/6人と数えています。(以下「実績」も同じ。)

実績

単位(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績 (通年、長期休業 期間利用者を含む)	1年生	524	538			
	2年生	445	476			
	3年生	388	364			
	4年生	276	268			
	5年生	155	139			
	6年生	75	55			
	合 計	1,863	1,840	0	0	0
②確保の内容	合 計	2,449	2,559			
	内通年利用	1,652	1,689			
②-①		586	719	0	0	0

①量の見込の内容＜小学校区＞

見込み

単位(人)

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	桃ヶ丘	1年生	25	25	24	23	22
		2年生	29	29	27	26	25
		3年生	18	18	17	16	16
		4年生	16	16	15	15	14
		5年生	6	6	6	6	5
		6年生	8	8	8	7	7
		合 計	102	102	97	93	89
2	一色	1年生	31	31	29	28	27
		2年生	30	30	28	27	26
		3年生	24	24	23	22	21
		4年生	18	18	17	16	16
		5年生	12	12	11	11	10
		6年生	7	7	7	6	6
		合 計	122	122	115	110	106
3	米野	1年生	45	43	43	41	38
		2年生	41	40	39	37	36
		3年生	31	30	29	28	27
		4年生	19	19	18	17	17
		5年生	18	18	17	16	16
		6年生	6	6	6	6	5
		合 計	160	156	152	145	139
4	北里	1年生	19	19	18	17	17
		2年生	30	30	28	27	26
		3年生	24	24	23	22	21
		4年生	16	16	15	15	14
		5年生	8	8	8	7	7
		6年生	7	7	7	6	6
		合 計	104	104	99	94	91
5	本庄	1年生	39	38	37	35	34
		2年生	34	33	32	31	30
		3年生	29	29	27	26	25
		4年生	19	19	18	17	17
		5年生	12	12	11	11	10
		6年生	7	7	7	6	6
		合 計	140	138	132	126	122
6	光ヶ丘	1年生	22	22	21	20	19
		2年生	21	21	20	19	18
		3年生	11	11	10	10	10
		4年生	18	18	17	16	16
		5年生	13	13	12	12	11
		6年生	7	7	7	6	6
		合 計	92	92	87	83	80

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7	篠岡	1年生	21	21	20	19	18
		2年生	18	18	17	16	16
		3年生	20	20	19	18	17
		4年生	17	17	16	15	15
		5年生	13	13	12	12	11
		6年生	3	3	4	4	3
		合 計	92	92	88	84	80
8	小牧	1年生	33	32	31	30	29
		2年生	34	33	32	31	30
		3年生	32	31	30	29	28
		4年生	18	18	17	16	16
		5年生	15	15	14	14	13
		6年生	5	5	5	6	4
		合 計	137	134	129	126	120
9	味噌	1年生	58	56	55	53	49
		2年生	52	50	49	47	44
		3年生	43	41	41	39	37
		4年生	18	18	17	16	16
		5年生	17	17	16	15	15
		6年生	0	0	0	0	0
		合 計	188	182	178	170	161
10	小牧原	1年生	46	44	44	42	39
		2年生	26	26	25	24	23
		3年生	23	23	22	21	20
		4年生	20	20	19	18	17
		5年生	7	7	7	6	6
		6年生	5	5	5	6	4
		合 計	127	125	122	117	109
11	小木	1年生	23	23	22	21	20
		2年生	19	19	18	17	17
		3年生	18	18	17	16	16
		4年生	14	14	13	13	12
		5年生	3	3	4	4	3
		6年生	7	7	7	6	6
		合 計	84	84	81	77	74
12	村中	1年生	17	17	16	15	15
		2年生	20	20	19	18	17
		3年生	19	19	18	17	17
		4年生	17	17	16	15	15
		5年生	15	15	14	14	13
		6年生	4	4	4	5	3
		合 計	92	92	87	84	80

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
13	小牧南	1年生	50	48	47	45	42
		2年生	40	39	38	36	35
		3年生	33	32	31	30	29
		4年生	34	33	32	31	30
		5年生	10	10	9	9	9
		6年生	6	6	6	6	5
		合 計	173	168	163	157	150
14	三ッ渕	1年生	19	19	18	17	17
		2年生	16	16	15	15	14
		3年生	21	21	20	19	18
		4年生	11	11	10	10	10
		5年生	7	7	7	6	6
		6年生	5	5	5	5	4
		合 計	79	79	75	72	69
15	陶	1年生	15	15	14	14	13
		2年生	10	10	9	9	9
		3年生	18	18	17	16	16
		4年生	13	13	12	12	11
		5年生	7	7	7	6	6
		6年生	0	0	0	0	0
		合 計	63	63	59	57	55
16	大城	1年生	17	17	16	15	15
		2年生	17	17	16	15	15
		3年生	16	16	15	15	14
		4年生	13	13	12	12	11
		5年生	11	11	10	10	10
		6年生	0	0	0	0	0
		合 計	74	74	69	67	65

実績

単位(人)

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	桃ヶ丘	1年生	26	31			
		2年生	30	24			
		3年生	21	21			
		4年生	13	14			
		5年生	2	5			
		6年生	1	0			
		合 計	93	95	0	0	0
2	一色	1年生	33	46			
		2年生	26	31			
		3年生	22	18			
		4年生	11	23			
		5年生	16	5			
		6年生	9	7			
		合 計	117	130	0	0	0
3	米野	1年生	60	59			
		2年生	38	48			
		3年生	41	38			
		4年生	22	27			
		5年生	12	13			
		6年生	11	3			
		合 計	184	188	0	0	0
4	北里	1年生	41	25			
		2年生	17	37			
		3年生	23	14			
		4年生	19	17			
		5年生	6	12			
		6年生	1	0			
		合 計	107	105	0	0	0
5	本庄	1年生	37	42			
		2年生	32	41			
		3年生	35	29			
		4年生	25	27			
		5年生	14	13			
		6年生	9	4			
		合 計	152	156	0	0	0
6	光ヶ丘	1年生	18	25			
		2年生	23	20			
		3年生	22	18			
		4年生	7	14			
		5年生	10	4			
		6年生	5	8			
		合 計	85	89	0	0	0

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7	篠岡	1年生	17	22			
		2年生	23	15			
		3年生	18	21			
		4年生	16	12			
		5年生	6	11			
		6年生	6	2			
		合 計	86	83	0	0	0
8	小牧	1年生	46	39			
		2年生	34	40			
		3年生	36	29			
		4年生	22	24			
		5年生	8	14			
		6年生	8	4			
		合 計	154	150	0	0	0
9	味岡	1年生	59	64			
		2年生	56	51			
		3年生	42	47			
		4年生	35	32			
		5年生	4	8			
		6年生	0	0			
		合 計	196	202	0	0	0
10	小牧原	1年生	33	35			
		2年生	37	35			
		3年生	17	28			
		4年生	14	7			
		5年生	7	6			
		6年生	2	3			
		合 計	110	114	0	0	0
11	小木	1年生	19	17			
		2年生	20	17			
		3年生	18	17			
		4年生	14	12			
		5年生	6	5			
		6年生	1	2			
		合 計	78	70	0	0	0
12	村中	1年生	18	20			
		2年生	13	18			
		3年生	17	12			
		4年生	14	14			
		5年生	8	6			
		6年生	6	2			
		合 計	76	72	0	0	0

児童クラブ名			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
13	小牧南	1年生	63	58			
		2年生	50	49			
		3年生	36	41			
		4年生	24	23			
		5年生	26	11			
		6年生	4	9			
		合 計	203	191	0	0	0
14	三ッ渚	1年生	18	23			
		2年生	16	18			
		3年生	11	11			
		4年生	14	9			
		5年生	11	8			
		6年生	3	2			
		合 計	73	71	0	0	0
15	陶	1年生	14	13			
		2年生	15	13			
		3年生	13	11			
		4年生	16	7			
		5年生	10	14			
		6年生	4	7			
		合 計	72	65	0	0	0
16	大城	1年生	22	19			
		2年生	15	19			
		3年生	16	9			
		4年生	10	6			
		5年生	9	4			
		6年生	5	2			
		合 計	77	59	0	0	0

確保の内容（提供体制）	
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(2) 時間外保育事業の見込みと確保の方策

事業名	時間外保育事業	提供区域	市全域
事業内容	● 保育時間が11時間を超える保育ニーズに対応したサービスを提供する事業		

見込み

単位(人)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 量の見込み	348	360	373	386	400
② 確保の内容	360	360	440	440	480
②-①	12	0	67	54	80

実績

単位(人)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 実績	213	267			
② 確保の内容	360	360			
②-①	147	93	0	0	0

確保の内容(提供体制)	私立保育園6園、公立保育園3園(大山・小木・大城)で確保
備考(課題・問題点等)	需要に対応するための人材確保等が課題

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(3) 子育て短期支援事業(ショートステイ)の見込みと確保の方策

事業名	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	提供区域	市全域
事業内容	●保護者が疾病、出産、育児不安等で家庭による養育が一時的に困難になった場合、1週間以内(宿泊を伴う)を原則として児童養護施設等で子どもを預かる事業 ●竜陽園(2歳まで)、溢愛館(2歳以上)の2か所で実施		

見込み

単位(人日)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	10	10	10	10	10
②確保の内容	21	21	21	21	21
②-①	11	11	11	11	11

※単位(人日は年間延べ人数)

実績

単位(人日)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	6	7			
②確保の内容	21	21			
②-①	15	14	0	0	0

※単位(人日は年間延べ人数)

確保の内容(提供体制)	施設が空いておらず、希望者に確実に利用してもらうことが難しい状況であったが、3施設と新たに契約したことで、選択肢が増え、利用増加につながった。
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(4) 地域子育て支援拠点事業の見込みと確保の方策

事業名	地域子育て支援拠点事業	提供区域	市全域
事業内容	●乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業 ●子育て世代包括支援センター、児童館(7館)の子育て支援室で実施		

見込み

単位(人回)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	193,042	188,498	187,335	184,955	184,711
②確保の内容	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000
②-①	26,958	31,502	32,665	35,045	35,289

※単位(人回)は年間延べ利用回数

実績

単位(人回)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	47,506	56,591			
②確保の内容	220,000	220,000			
②-①	172,494	163,409	0	0	0

※単位(人回)は年間延べ利用回数

確保の内容(提供体制)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、子育て支援室(子育て世代包括支援センター内)の利用制限を実施していたため、コロナ前に比べて利用者は減少しているが、昨年に比べると9,000人程度増加した。
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(5) 一時預かり事業の見込みと確保の方策

事業名	一時預かり事業	提供区域	市全域
事業概要	●幼稚園型一時預かり事業(預かり保育) 幼稚園、認定こども園(1号認定)に通う在園児のうち希望者を対象に、教育時間終了後や長期休業中に幼稚園、認定こども園で預かり保育を実施する事業 ●一般型一時預かり事業(一時保育) 保護者の就労や病気等の理由で、一時的または断続的に家庭での保育が困難な未就園児を対象に、保育園で一時保育を実施する事業		

見込み

単位(人日)

幼稚園型(在園児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	52,542	51,185	49,828	48,471	47,114
②確保の内容	58,600	58,600	58,600	58,600	58,600
②-①	6,058	7,415	8,772	10,129	11,486

一般型(在園児以外)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	4,562	4,724	4,892	5,066	5,246
②確保の内容	4,644	4,902	5,504	5,504	6,192
②-①	82	178	612	438	946

※単位(人日)は年間延べ人数

実績

単位(人日)

幼稚園型(在園児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	52,564	50,806			
内訳	1号・新1号	13,238	11,693		
	新2号	38,329	39,113		
	新3号	997	0		
②確保の内容	58,600	58,600			
②-①	6,036	7,794	0	0	0

一般型(在園児以外)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	3,369	3,442			
②確保の内容	4,644	4,902			
②-①	1,275	1,460	0	0	0

※単位(人日)は年間延べ人数

確保の内容(提供体制)	幼稚園型一時預かり事業(預かり保育)については、私立幼稚園8園、第一幼稚園、認定こども園2園にて実施 一般型一時預かり事業(一時保育)については、私立保育園6園で実施
備考(課題・問題点等)	需要に対応するための人材確保等が課題

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(6) 病児保育事業の見込みと確保の方策

事業名	病児保育事業	提供区域	市全域
事業概要	●子どもが病気で、かつ保護者が家庭で保育を行うことが困難な場合に、専用施設で一時的に子どもを預かる事業、また、保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応を行う事業 ●病児保育を2か所、体調不良児対応型を4か所で実施		

●病児対応型

見込み

単位(人日)

<全体>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	2,990	2,945	2,959	2,953	2,972
②確保の内容	5,040	5,040	6,000	6,000	6,480
②-①	2,050	2,095	3,041	3,047	3,508

<病児・病後児対応型>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,851	1,665	1,539	1,536	1,431
②確保の内容	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
②-①	1,269	1,455	1,581	1,584	1,689

<体調不良児対応型>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,139	1,280	1,420	1,417	1,541
②確保の内容	1,920	1,920	2,880	2,880	3,360
②-①	781	640	1,460	1,463	1,819

※単位(人日)は年間延べ人数

実績

単位(人日)

<全体>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	480	1,226			
②確保の内容	5,040	5,040			
②-①	4,560	3,814	0	0	0

<病児・病後児対応型>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	176	524			
②確保の内容	3,120	3,120			
②-①	2,944	2,596	0	0	0

<体調不良児対応型>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	304	702			
②確保の内容	1,920	1,920			
②-①	1,616	1,218	0	0	0

※単位(人日)は年間延べ人数

確保の内容（提供体制）	病児・病後児対応型については、下記の2施設で実施 ・はやしこどもクリニック（ポケットクラブ） ・小木こどもファミリークリニック（ゆうかり） 体調不良児対応型については、私立保育園4園（レイモンド小牧・みなみ・味噌・篠岡）で看護師を配置し、実施
備考（課題・問題点等）	需要に対応するための人材確保に加え、病児保育を実施できる新たな医療機関の確保等が大きな課題

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)の見込みと確保の方策

事業名	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	提供区域	市全域
事業内容	●就学児童の放課後児童クラブへの送迎など、一時的に子どもを預かってほしい会員の依頼に応じて、育児の手助けができる会員を紹介する事業		

見込み

単位(人日)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	696	682	667	648	635
②確保の内容	696	682	667	648	635
②-①	0	0	0	0	0

※単位(人日は年間延べ人数)

実績

単位(人日)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	246	561			
②確保の内容	696	682			
②-①	450	121	0	0	0

※単位(人日は年間延べ人数)

確保の内容(提供体制)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度はキャンセルなども増え減少傾向にあったが、令和3年度は規制緩和もあり利用が増加した。
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(8) 利用者支援事業の見込みと確保の方策

事業名	利用者支援事業	提供区域	市全域
事業内容	●利用者が多様な子育て支援サービスの中から適切なものを選択できるよう、教育・保育施設や地域の子育て支援のサービス利用に関する情報提供を行うとともに、子育て家庭からの相談に応じ、助言や関係機関との連絡調整等を実施する事業		

見込み

単位(施設)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1	1	1	1	1
②確保の内容	1	1	1	1	1
②-①	0	0	0	0	0

実績

単位(施設)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	1	1			
②確保の内容	1	1			
②-①	0	0	0	0	0

確保の内容(提供体制)	平成30年9月に子育て世代包括支援センターを設置し、利用者支援事業(基本型、母子保健型)を実施。
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

--

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(9) 乳児家庭全戸訪問事業の見込みと確保の方策

事業名	保健連絡員・保健連絡員OBによる赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)	提供区域	市全域
事業内容	●生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、地域に自分のことを知っている「頼れる近所のおばさん」がいることを親子に知ってもらう事業 ●子育て支援に関する情報の提供や親子の心身の状況や育児状況などに耳を傾け、必要に応じて専門的・継続的支援につなげる事業		

見込み

単位(人)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,031	1,014	994	973	951
②確保の内容	1,265	1,252	1,239	1,227	1,215
②-①	234	238	245	254	264

実績(人)

単位(人)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	823	618			
②確保の内容	988	1,042			
②-①	165	424	0	0	0

確保の内容(提供体制)	確保の内容(赤ちゃん訪問打ち出し者数)の打ち出し期間と訪問報告の期間にずれがある。また、訪問を希望しない家庭や連絡がとれず会えない家庭もある。
備考(課題・問題点等)	R2～市内産婦人科でのPRチラシ配布、小牧市子育てアプリ「すくすくこまキッズ」による通知を実施。今後も関係機関や訪問を受ける親子に事業を認知・理解してもらい、スムーズに訪問事業へつながるよう事業PRに努めていく。

こども・子育て会議での意見

--

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(10) 養育支援訪問事業の見込みと確保の方策

事業名	助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問 (養育支援訪問事業)	提供区域	市全域
事業内容	●出産前後の不安の強い時期に必要なに応じて訪問し、育児不安の軽減を図る事業		

見込み

単位(世帯)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	599	662	733	811	897
②確保の内容	599	662	733	811	897
②-①	0	0	0	0	0

実績

単位(世帯)

全体	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	472	626			
②確保の内容	720	720			
②-①	248	94	0	0	0

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	

子ども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(11)妊婦に対する健康診査(妊婦健康診査事業)の見込みと確保の方策

事業名	妊婦に対する健康診査 (妊婦健康診査事業)	提供区域	市全域
事業内容	●妊婦と胎児の健康の保持増進及び異常の早期発見により、適正な医療や保健指導等につなげ、安全で安心な出産ができる環境を整え、よりよい育児のスタートが切れるよう、必要な回数の妊婦健康診査の受診を促し、公費負担を行う事業		

見込み

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	対象人数(人)	1,460	1,436	1,407	1,377	1,348
	健診回数(回)	17,711	16,911	16,148	15,419	14,723
②確保の内容	対象人数(人)	1,460	1,436	1,407	1,377	1,348
	健診回数(回)	17,711	16,911	16,148	15,419	14,723
②-①	対象人数(人)	0	0	0	0	0
	健診回数(回)	0	0	0	0	0

実績

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	対象人数(人)	1,159	1,113			
	健診回数(回)	13,311	13,516			
②確保の内容	対象人数(人)	1,500	1,300			
	健診回数(回)	22,500	19,500			
②-①	対象人数(人)	341	187	0	0	0
	健診回数(回)	9,189	5984	0	0	0

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(12)実費徴収に係る補足給付事業の見込みと確保の方策

事業名	実費徴収に係る補足給付事業	提供区域	市全域
事業内容	●保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に必要な費用や行事への参加に要する費用(Ⓐ)、給食の副食費(新制度未移行の幼稚園対象)等を助成する事業(Ⓑ)		

見込み

単位(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	370	370	370	370	370
②確保の内容	370	370	370	370	370
②-①	0	0	0	0	0

実績

単位(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①実績	2075	2575			
内訳	Ⓐ	23	23		
	Ⓑ	2052	2552		
②確保の内容	2075	2575			
②-①	0	0	0	0	0

確保の内容(提供体制)	必要な予算を確保し、対象世帯へ助成
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見